European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations

報道関係者各位

2026 年 10 月 1 日

EFPIA Japan、加盟企業への「対日投資サーベイ」結果を公表
－薬価制度改革と特許医薬品市場の成長が、日本のグローバルなイノベーション競争力の鍵－

一般社団法人 欧州製薬団体連合会（EFPIA Japan, 会長：ジョンポール・プリシーノ）は、本日、加盟企業を対象に実施した「対日投資サーベイ」の結果を発表しました。

調査結果から、日本市場は現在、世界規模での事業展開において高い戦略的重要性を有する一方、その地位は今後の薬価政策や市場環境の方向性によって左右されるとの認識が EFPIA Japan 加盟企業の間で共有されていることが明らかになりました。イノベーションを適切に評価・促進する政策改革が実現すれば、日本の投資先としての魅力が高まり、グローバルにおける日本の競争力強化につながるとの期待も示唆されました。
EFPIA Japan は、この結果を関係者の皆様と広く共有し、日本が革新的医薬品の「投資先として選ばれる国」であり続けるための議論を加速させることを求めます。

■サーベイ結果サマリー ―今こそ制度改革、政策の方向性を明確に

- 日本は革新的医薬品投資の主要投資先となる好位置にあり、多数の加盟企業がグローバル事業における主要市場として高く評価しています。
- イノベーションを適切に評価し、特許医薬品市場の成長と予見可能性の高い薬価制度を実現する政策の方向性が日本への投資を大幅に後押しし、グローバルにおける日本の戦略的地位をさらに強化します。
- 制度改革が実現すれば、加盟企業は臨床試験・製造・技術導入のすべての領域で投資拡大の準備ができています。
- 一方で、制度改革が行われない場合、臨床試験・治験、製造、技術導入などの投資を減少する意向が示されています。
- 薬価制度・政策の方向性を明確にすることで、日本は「革新的医薬品の投資先として選ばれる国」としての地位を確固たるものにできます。
- 薬価と市場成長に向けた果断な行動により、日本は国際共同治験への参画を確保し、新薬上市を加速させ、革新的医薬品を患者さんにより早く届けることができます。

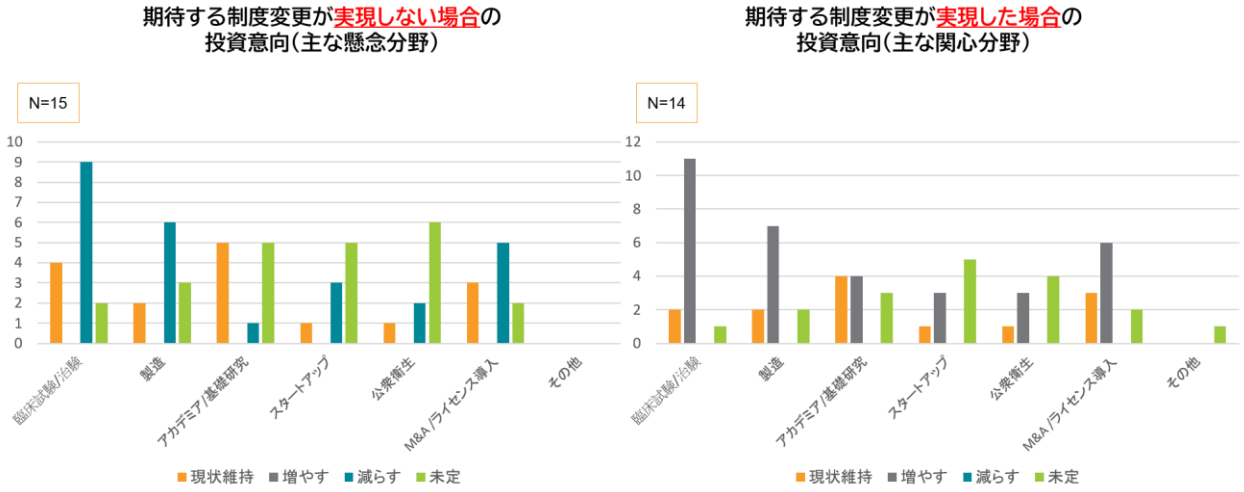
サーベイ結果

■制度変更の方向性が将来の投資判断を直接左右する

加盟企業が期待する制度変更の実現可否は、日本における将来の投資判断に直接かつ明確な影響を与えることが示されました。
期待する制度変更が実現した場合、回答した加盟企業14社中11社（79%）は臨床試験・治験をはじめ製造、技術導入やパートナーシップを含む幅広い領域で投資拡大の意向を示しています。一方、実

現しない場合には、回答した15社のうち9社（60%）が臨床試験・治験をはじめとして投資縮小を行う可能性を示しており、これらの結果は、制度改革が日本の医薬品イノベーションにおける役割を強化し、新たな医薬品への患者さんのアクセス向上を後押しする可能性を示唆しています。

期待する制度変更が実現しない場合／実現した場合の投資意向（複数選択）

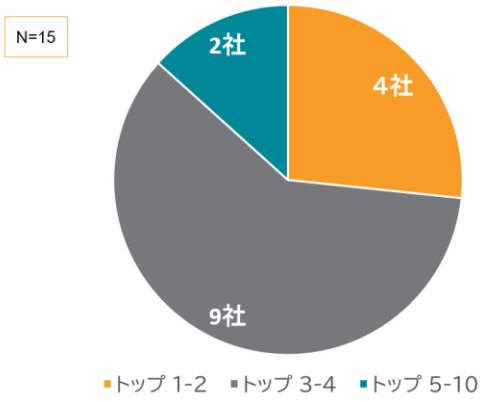


■現状の投資動向：臨床試験・治験が全社で実施、製造・技術導入も活発

現在の投資領域として、臨床試験・治験が最も多く、この設問に回答した 16 社全社が実施していると回答。次いで製造（8 社）、技術導入（7 社）が続きました。

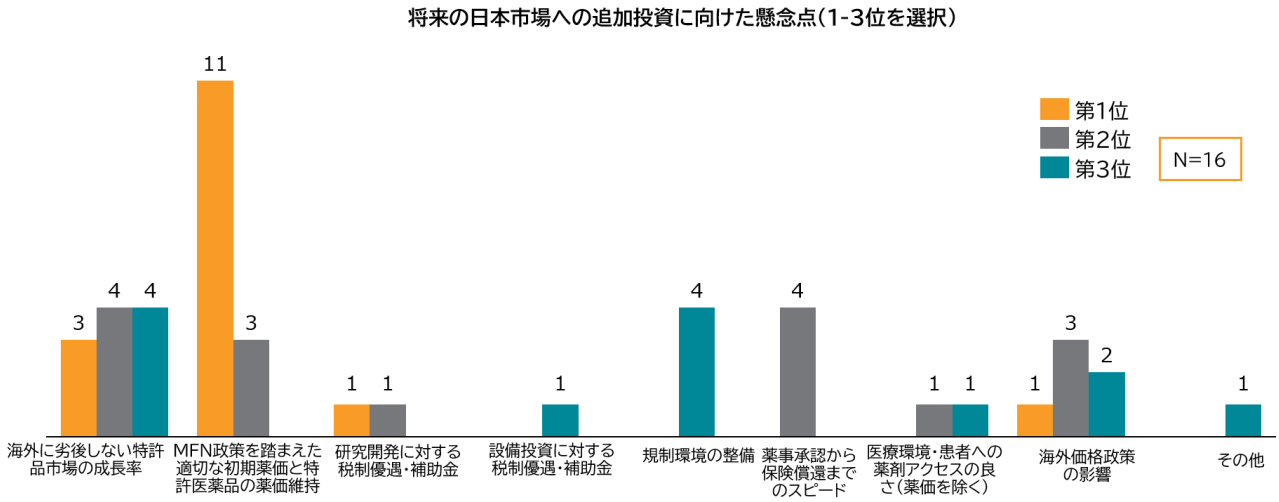
なお、グローバル事業における日本市場の優先順位は、トップ 1～2 位と位置づける企業が 4 社、トップ 3～4 位が 9 社、トップ 5～10 位が 2 社と、大多数の加盟企業が日本を主要市場の一つとして高く評価していることが確認されました。

グローバル事業における日本市場の優先度



■**将来の投資懸念：薬価政策が最大の障壁**

将来の投資に関する懸念事項として、**薬価政策**が圧倒的な第 1 位となりました。具体的には、「MFN（最恵国待遇）政策下における適切な初期薬価設定と特許医薬品の薬価維持」を最大の懸念として挙げた企業が **11 社**に上りました。第 2 位には「特許医薬品市場の成長率」が続きました。



この結果は、薬価政策をはじめとする制度環境の改善が、日本における臨床試験・製造・技術導入のすべての投資領域において、直接的かつ大幅な投資拡大につながることを明確に示しています。一方で、期待する制度変更が実現しない場合には、複数の加盟企業が日本への投資を縮小する意向を持っており、その影響は日本の医療イノベーション、雇用創出、そして経済成長に広く及ぶことが懸念されます。

■**EFPIA Japan 会長 ジョンポール・プリシーノ　コメント**

「今回のサーベイ結果は、日本市場に対する欧州系製薬企業の期待と懸念の双方を示しています。加盟企業は日本をグローバルにおける重要市場の一つと位置づけており、投資拡大への意欲は明確です。しかし投資判断は政策環境に大きく左右されており、イノベーションを適切に評価・促進する政策改革が実現すれば、臨床試験、製造、技術導入を含むさらなる投資拡大につながる一方、改革が進まなければ投資の優先順位低下や投資縮小につながる可能性も示されています。

日本が世界の医薬品イノベーション投資を惹きつける競争力を維持・強化するためには、特許医薬品市場の成長、国際競争力のある新薬価の実現、そしてイノベーションの価値を適切に反映した予見可能な薬価制度の構築に向け、行政と産業界が連携して具体的な施策を着実に実行することが重要です。

EFPIA Japan は、現在示されている政策の方向性を評価しており、その着実な実行を通じて、患者さんの革新的医薬品へのアクセス向上と、日本の医薬品イノベーションエコシステムの強化が実現することを期待しています。今後も関係者との建設的な対話を通じ、その実現を後押ししてまいります。」

■サーベイ概要

- 実施期間：2026 年 7 月 28 日～8 月 27 日
- 回答企業：EFPIA Japan 加盟会社 17 社
- 回答は集計、匿名化。各設問により回答社数の変動あり。

一般社団法人 欧州製薬団体連合会（EFPIA Japan）について

2002 年 4 月に設立された EFPIA Japan には、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業 23 社が加盟しています。2025 年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場売上の約 32.4%を占めています。EFPIA Japan の使命は、“革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献する”ことです。EFPIA Japan は日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。http://efpia.jp/

欧州製薬団体連合会（EFPIA ;The European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations）について

EFPIA は、欧州で事業を展開するバイオ医薬品産業を代表する団体で、欧州各国の 36 の業界団体や欧州で展開する 40 の大手製薬企業、多数の中小企業（SME）の直接会員により構成されています。新たな治療薬およびワクチンの創薬や研究開発、イノベーション、供給を可能にする環境の構築と、欧州経済への貢献を使命としています。http://www.efpia.eu

お問い合わせ先：
井川 敦子/片桐麻衣
EFPIA Japan 広報委員会
Tel: 070-1184-8615
Email: efpia.communications@novartis.com